

## 予算編成方針

令和5年度予算編成は、「令和5年度当初予算編成に向けて」（令和4年7月25日通知。以下「通知」という。）に基づき、本市が抱える課題を解決しながら、ポストコロナを見据えた平時への移行を推進するとともに、成長が実感できる世の中を取り戻す。

令和5年度予算では、通知したように、特に次の取組に対してより優先的に財源を配分する。また、財政運営のレジリエンス（強靱性）向上に取り組みつつ、本市の将来を見据えた重要施策に関する選択肢をせばめてはならない。各部局においては、先に実施した部局基本方針や、見直し事業の市長・副市長報告での指摘内容を踏まえ、限られた財源の中で、実効性を見極めながら、予算要求段階から、予算の優先化、重点化に取り組むこと。

### 【令和5年度当初予算で財源を重点配分する取組】

#### (1) 活力あるまちづくり

- ① 中心市街地の活性化をはじめ、関係人口の創出、観光需要の喚起など、まちに人の流れを生み出す取組
- ② 多様性に富んだ包摂社会の実現に向けた、地域コミュニティの活性化等の取組

#### (2) 成長するまちづくり

- ① 中小企業の生産性向上等の促進や、人口減少や環境問題など社会課題の解決に向けたイノベーションへの支援等に係る取組
- ② DX、GX、デジタル田園都市国家構想など地域課題の解決に資する新たな分野に係る取組

#### (3) 子どもが育つまちづくり

- ① 子育て世代が将来にわたる展望を描ける環境をつくるための妊娠期から子育て期までライフステージの各段階に応じた取組
- ② 個々の子どもが健やかに成長できる環境を整備するためのきめ細やかな支援に係る取組

#### (4) 持続可能なまちづくり

- ① ダイバーシティと民間活力を原動力とし、経済・社会・環境の三側面に好循環をもたらす取組
- ② 「徳島市行財政改革推進プラン 2021」の推進をはじめとする変動する社会環境に即した行政運営を可能とするための取組
- ③ 健康増進や公共施設マネジメントなど社会課題の解決と将来的な財政負担軽減の両立を図ることでレジリエンスの向上を実現するための取組

なお、上記の取組のうち特に注力して新たな施策を検討すべきものや、事業の見直しを検討すべきもののほか、今回の予算編成過程において明らかにすべきことについては、随時、関係部局と個別に協議を行うものとする。

これらの事項に加え、これまでの行財政改革の取組により、本市の財政状況は好転しているものの、財政構造が大きく改善しているわけではなく、不確実性が高まる世の中に対応していくため、施策全体として、より一層、レジリエンス向上のための取組を進めていく必要がある。

こうしたことから、引き続き「徳島市行財政改革推進プラン2021」に掲げた取組を着実に実行に移していくとともに、限られた財源の中より市民ニーズに合致した施策を展開できるよう、積極的に事業見直し等を行うこと。

さらに、新型コロナウイルス感染症の感染状況や、物価高騰等の動向が地域経済等に与える影響が不透明なことから、今後の国や県の動向には注視し、必要に応じて、迅速かつ的確な対応がとれるよう、準備を怠らないこと。